

平成 25 年度の主要な事業について

1 景気・市財政の動向

我が国の経済は、景気後退局面にあるものの、底入れの兆しが見られ、このところの円安傾向に伴い、輸出に改善が期待されているほか、政府が打ち出した景気対策による公共投資の増加も見込まれています。

しかしながら、地域経済の回復につきましては、依然として不透明な状況にあり、市民生活にも大きな影響を及ぼしています。

本市の財政につきましては、社会保障費の増加などにより大変厳しい状況が見込まれます。

こうした状況の中では、将来を的確に見据え、次の世代に責任の持てる財政を念頭に置きながら、常にコスト意識とスピード感を持って、市民サービスを提供することが重要であると考えます。

2 平成 25 年度当初予算に計上した事業

平成 25 年度の当初予算は、厳しい財政状況のなか、政策的な事業予算については慎重に判断するため、人件費・公債費等の義務的経費や施設管理費等の経常的経費を中心とした「骨格予算」として編成しました。

ただし、新病院整備などの地域医療の充実、大規模災害に備えた防災・減災対策や子育て支援事業については、市民生活に支障が生じないように早急な対策を考え当初予算としています。

主な事業は次のとおりです。

①新病院整備事業関係

桑名総合医療センターが中心となり、平成 27 年 4 月の開院を目指して新病院の整備を進めます。

②本庁舎 耐震補強事業

震災時における来庁者や職員の安全確保、行政機能の保全、また、防災拠点としての庁舎機能の保持のため耐震補強工事を行います。

③(仮称)城南地区防災センター建設事業

木曾川河川下流事務所が進めている河川ステーションの一部に、津波や高潮洪水から避難し遅れた地域住民の一時避難場所としての利用に加え、地域の防災拠点の役割を果たすための施設を建設します。

④防災意識啓発事業

桑名市が有識者の意見を取り入れながら職員を対象とした防災意識付け、市民を災害から守るための災害時の対応、被災者への対応を円滑に行う手法を学びます。

⑤陽だまりの丘複合施設整備事業

地域でスポーツ文化活動ができる生涯学習機能と子育て親子の交流や相談など、子育て支援機能を兼ね備えた複合施設を建設します。

平成25年6月に完成し、8月中旬に供用開始を予定しています。

愛称を公募した結果、『ぽかぽか』に決定しました。

⑥学力・教師力向上推進事業

各学校において、いじめ・不登校の未然防止・早期対応を図り、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、学校満足度調査を実施します。

⑦北勢線運営支援事業

暫定的に平成25年～27年度の3年間、北勢線の運営を支援します。

⑧家庭用新エネルギー普及支援事業

住宅への太陽光発電設備等の設置に対し、1件あたり3万円を助成します。

⑨住宅リフォーム促進事業

居住環境の改善とともに、地域経済の活性化も図るため、前年度に引き続き住宅リフォーム工事費の一部(最高10万円)を助成します。

3 今後の考え方

平成25年度には、新市長の7つのビジョンを具現化するため、市の今後の方向性を定める総合計画を策定する予定です。

また、投資的経費を中心とする政策的な事業費については、6月議会の補正予算を「肉付け予算」として編成する予定です。

その中では、

- ①財政状況の公表
- ②公共施設のマネジメント
- ③防災教育
- ④子育て支援
- ⑤桑名の「ブランド」化

等に関する事業を盛り込む方向で検討しています。